

OBによるミニ講演会を実施しました(3年生)



2016
February 25

本校には、毎年大勢の卒業生が遊びに来ます。職員の転動がない本校。卒業生にしてみれば、学校に行きさえすればいつでも懐かしい先生方に会えるわけです。

先日は、13期生の森山健太郎くん(東京大学経済学部4年)と16期生の原田知季くん(宮崎大学工学部1年)がたまたま放課後に来校したため、急遽3年生を集めてミニ講演会を開催することになりました。

実は、森山くんは大手企業に内定した報告に、原田くんは部活のOB会の打ち合わせに来たのですが、せっかくだから後輩達に体験談を話してほしいという、先生方のなかば強引なお願い(無茶ぶり?)を快く引き受けてくれました。

原田くんは、中学入学当初、芳しくなかった成績を6年間で着実に上げていったという体験談を披露。生徒目線で話す内容に、生徒たちも真剣に聞き入っていました。森山くんは自身の経験から、「就職活動は情報と準備が大事。そのためにも交友関係を広げておくべき」と前置きしたあと、東大生とはいえ就職は決して甘くないという厳しい現実を分かりやすく解説してくれました。また、2人とも中3時にやっておくべきことや苦手教科の克服法など、自分が苦労した体験を元に切々と訴えかけていました。

こういったミニ講演は卒業生が遊びに来るたびに実施しています。大勢の卒業生が遊びに来てくれる…この事実が本校の先生と生徒の関係を物語っているのかもしれないね。



自らの目標を達成した先輩たちの言葉に全員が聞き入って



13期 森山健太郎くん(東京大学4年)



16期 原田知季くん(宮崎大学1年)



立ち見が出るほどの盛況ぶり



苦手教科の勉強法やモチベーションを維持する秘訣など、生徒達にとっても大変有益な時間となりました